

償却資産申告書の記入例

※住所、氏名、電話番号、屋号、事業種目、取得価格を記入のうえ必ず押印し提出してください。

※印字してある内容（前年度までの申告内容）に変更がある場合は、朱書き2本線 〰で消し、訂正してください。

1 住所、2 氏名

印字されている住所氏名等が正しいか確認し、電話番号を記入してください。

初めて提出される方は白紙ですので、屋号まで詳しく記入してください。

（屋号）
屋号（事業所名）が印字されていない場合は記入してください。

個人事業主の方は、屋号に店舗名等を記入してください。

提出する日付を記入してください。

令和4年 1月19日
佐賀県武雄市長
小松 政 様

3 個人番号・法人番号

記入不要です。

令和4年度
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

4 事業種目

武雄市内で行われている事業の内容について記入し、法人の場合は資本金等を記入してください。

5 事業開始年月日

事業開始年月日（法人設立日）を記入してください。

6 応答者

この申告について応対される方を記入してください。

7 税理士

経理を委託されている税理士等があれば具体的に記入してください。

受付印	令和4年 1月19日 佐賀県武雄市長 小松 政 様	令和4年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）	記入不要です
1 (ふりがな) 住所 又は納税通知書送達先	843-8639 たけおし たけおまち しょうわ 武雄市武雄町大字昭和12-10 (電話 0954-23-9220)	3 個人番号又は法人番号	8 短縮耐用年数の承認 有・無 <input type="radio"/>
2 (ふりがな) 氏名 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	かぶしがいしゃ たけお 株式会社 たけお ぜいむ たろう 代表取締役 税務 太郎 (屋号 たけお不動産) ※この申告書は、必ず返却してください	4 事業種目 (資本金等の額) 不動産賃貸業 (200万円)	9 増加償却の届出 有・無 <input type="radio"/>
		5 事業開始年月 平成28年4月	10 非課税該当資産 有・無 <input type="radio"/>
		6 この申告に対応する者の係及び氏名 経理グループ 担当：△△ (電話 0954-23-□□□□)	11 課税標準の特例 有・無 <input type="radio"/>
		7 税理士等の氏名 税理士法人△△ 東川 次郎 (電話 0954-23-△△△△)	12 特別償却又は圧縮記帳 有・無 <input type="radio"/>
			13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法 <input type="radio"/>
			14 青色申告 有・無 <input type="radio"/>

8~14
該当するものを○で囲んでください。

15 事業所等資産の所在地

武雄市内の事業所、又は償却資産の所在地を記入してください。（記入欄が不足する場合は、備考欄又は別紙へ記入してください。）

資産の種類	取得価額			
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)
1 構築物	2,100,000		3,100,000	5,200,000
2 機械及び装置			2,000,000	2,000,000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	900,000	200,000	600,000	1,300,000
7 合計	3,000,000	200,000	5,700,000	8,500,000

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

①武雄町大字昭和△番地 (□△アパート)
②朝日町大字甘久△番地 (△△コーポ (R2年9月新築))
③武雄町大字富岡△番地 (川良営業所)
④

16 借用資産 (有・無) 有

貸主の名称等
株式会社△△リース
0954-23-△△△△

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有 ・ 借家

16 借用資産

借用資産（リース資産等）の有無についてどちらかを○で囲み、「有」の場合は、貸主の名称、住所等を記入してください。

資産の種類	※評価額 (ホ)	※決定価格 (ヘ)	※課税標準額 (ト)
	1 構築物		
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具			

電算申告される方のみ記入してください

18 備考（添付書類等）

※資産の増減等について、該当する下記の番号(1~5)に○をつけてください。

1. 増減なし 2. 増減あり 3. 減少あり
4. 該当資産なし(市内で事業継続中)
5. 廃業・解散・転出等(年 月 日)

17 所有区分

営業所や店舗等の事業所用家屋が借家の方は、備考欄に当該家屋の所有者名及び住所を記入してください。

【取得価額】

(イ) 前年前に取得したもの

前年前に取得した資産の取得価額の合計額を資産の種類ごとに記入してください。

前年に申告された方は、既に印字されていますので前年申告の内容と誤りがないかご確認ください。

※電子申告の方で「前年前に取得したもの(イ)」の金額が前年度と異なる場合は、差額がわかる資料を必ず提出してください

(ロ) 前年中に減少したもの

前年中（令和3年1月2日～令和4年1月1日）に売買、廃棄、市外移転した資産について種類ごとに取得価額を記入してください。

※減価償却における耐用年数が過ぎたものでも、実際に使用している限り減少資産とはなりません。

(ハ) 前年中に取得したもの

前年中（令和3年1月2日～令和4年1月1日）に新品取得、中古取得、市外から移転受入した資産について種類ごとに取得価額を記入してください。

(ニ) 取得価額の計

資産の種類（1種～6種）ごとに、(イ) - (ロ) + (ハ) の計算をして得られた数字を記入してください。

18 備考（次のア～ウのように記入してください）

- ア 前回の申告と比較して、今回の申告内容に該当するものに○をつけてください。
- イ 住所、氏名等に異動があった場合は、異動事由（商号変更等）、異動年月日、旧住所及び旧名称等を記入してください。
- ウ 添付書類がある場合はその名称、その他この申告に必要な事項を記入してください。